

記事掲載：2022年11月

翻訳：2022年11月

## 気候変動対策と教育を結びつける



©Education Cannot Wait

私たちは崖っぷちに立たされています。海水の上昇、壊滅的な干ばつ、気温の上昇、激甚化する自然災害の頻発によって、子どもたち、そしてその家族やコミュニティは移住を余儀なくされ、何百万人もの教育が妨げられ、命と生活が危機にさらされています。

エジプトで開催された COP27（第 27 回気候変動枠組条約締結国会議）では、世界のリーダーたちが、気候変動に直面する中で、私たちの経済、社会、そして世界をどのように適応させていくかを議論しています。気候変動に立ち向かい、環境のさらなる悪化を防ぐためには、教育が決定的に重要です。気候変動対策と教育を結びつけていく必要があります。

環境問題について教育を受けた新しい世代がいなければ、SDGs（持続可能な開発目標）を達成することはできません。同時に、危機に瀕している地球に対して責任ある行動を、すべての世代の人々が取るよう求めていく必要があります。

COP27 における議論は、特に気候変動による災害に苦しむ、世界で最も弱い立場に置かれた子どもや若者のために、気候変動対策と教育との関連を訴える絶好のチャンスです。

数字は、危機の中にある危機を物語っています。2016年、私たちは気候変動がもたらす危機による影響を受けた7500万人の子どもたちが、緊急の教育支援を必要としていると推定しました。現在、その数は3倍の2億2200万人に達しています。母なる地球が未曾有の課題に直面している現代、この状況は見過ごすことはできません。

「アフリカの角」における干ばつやパキスタンの洪水など、気候変動が引き起こした災害によって、何百万人もの人々が影響を受けています。パキスタンだけでも、2万7000校近くの学校が破壊や被害を受け、200万人の子どもや若者に影響が及んでいます。

世界全体で見ると、世界の子どもたちの半数近くにのぼる約10億人の女の子と男の子が、気候変動の影響が「極めて高いリスク」がある国で生活しています。また、南アジア、サハラ以南アフリカ、中南米では、2050年までに1億4000万人以上の人々が気候変動によって移住を余儀なくされる可能性があるという試算もあります。

これにより、世界経済は7.9兆米ドルの損失を被る可能性があります。これは経済的損失であるだけでなく、地球の未来にとっても壊滅的な損失です。

気候変動の影響を最も受けるのは、発展途上国です。2050年までのアフリカのGDPに対する気候変動によるコストは4.7%と推定されており、次いで中南米（3.8%）、中東（3.7%）、東欧（3%）、アジア太平洋（2.6%）の順となっています。

さらに、気候変動と武力紛争の激化が関連付けられる事例が増えています。

最も社会から疎外され、弱い立場にある子どもや若者は、最も多くを失う可能性があります。質の高い教育によって安心して安全な生活を生み出せなければ、彼らは気候変動の影響にうまく備えることはできません。性的搾取、早すぎる結婚、思春期の妊娠、児童労働、武装勢力による徴用などの人権侵害のリスクが高まることで、子どもや若者はより苦境に立たされかねません。気候変動は人間の行動に負の影響を及ぼすことを認識しなければ、気候と私たちの尊厳ある生活は同時に破壊されてしまうのです。

気候変動対策として、私たちはどのように行動すればよいのでしょうか？私たちは、気候変動が引き起こす災害に苦しむすべての子どもや若者が、教育によってエンパワーされることで、現在の気候変動による災害を減らし、地域や国が地球を救う方向に向かうようにしなければなりません。彼らの教育を受ける権利を、気候変動による影響から守り、被害の再発を防げる学習環境を作るよう、財政支援が必要です。教育は、地球にとってより持続可能な未来への道筋です。

地球への責任ある行動をとる人として、女の子と女性を前面かつ中心に据える必要があります。[マララ基金](#)は、気候に関連する出来事によって、2021年に低・中所得国の少なくとも400万人の女の子が教育を修了できなかったと推測しています。今こそ行動を起こすべき時なのです。

女の子の教育へのアクセスの保障は、気候変動への耐性を高める上で、持続可能かつ費用対効果の高い方法です。女子教育に投資してきた国々は、女子教育のレベルがより低い国々に比べて、干ばつや洪水による損害はるかに少なくなっています。女子教育と災害リスク軽減の関連性を分析した2013年の研究では、少なくとも20～39歳の女性の70%が前期中等教育を受けていれば、2050年までに130カ国の災害関連死が60%減少すると予測しています。

緊急下、長期化する危機における教育のための国連の基金である Education Cannot Wait（以下「ECW」）は、世界のドナーや戦略的パートナーとともに、[気候危機](#)の影響を最も強く受けるいくつかの国々で、幅広い支援を展開しています。

[バングラデシュ](#)や[カメルーン](#)、[パキスタン](#)などで自然災害が発生した時、ECWの迅速な資金拠出によって子どもたちの保護、新しい学校による教育の再開が支援されました。また、安全な水や栄養のある食事が提供され、安心して学び、成長できる場を確保しました。

[チャド](#)では、教育プログラムを通じて防災・減災、レジリエンスについて教えられています。気候変動と教育の不可分の関係は、私たちの2023-26年戦略計画（[2023-2026 Strategic Plan](#)）の中核となっています。

2023年2月16～17日にジュネーブで開催されるECWのハイレベル資金調達会議には、世界のリーダーたちが参加する予定です。スイス政府とECWが主催し、コロンビア、ドイツ、ニジェール、ノルウェー、南スーダンが共同開催する同会議は、COP27で学んだ教訓を生かし、気候変動対策と教育をつなぐ貴重な機会となるでしょう。

教育によって、未来のリーダーたちは、現役世代からバトンを受け取り、人類史上最大の脅威となった気候変動に責任を持って対処するための力を得ることができるのです。

地球は存続するのでしょうか？果たして人類は生き残れるのでしょうか？教育への投資を通じ、私たちは地球と人類が共存、共栄する未来を手に入れることができるのです。

【翻訳前の記事（英語）】

<https://www.educationcannotwait.org/news-stories/directors-corner/connecting-the-dots-between-climate-action-and-education>